

令和2年度優良事業者表彰 受賞事業（全6件）

- 国土交通大臣表彰
- 経済産業大臣表彰
- 国土交通省公共交通・物流政策審議官表彰
- 経済産業省商務・サービス審議官表彰
- グリーン物流パートナーシップ会議特別賞（2件）

令和2年度 国土交通大臣表彰

事業名

スワップボディを活用した共同輸送事業

事業者（◎：代表者）

- 株式会社ホームロジスティクス◎
- ユニ・チャームプロダクツ株式会社
- トランコム株式会社

事業概要

スワップボディ車両を活用したホームロジスティクスとユニ・チャームの異業種間共同輸送について、両社の物流パートナーであるトランコムと全国10拠点間で実施した。当日往復化による輸送効率向上や空回送削減、荷役分離による環境負荷軽減とドライバー労務環境改善を実現した。

取組のポイント

- 出荷時間の調整やリードタイム変更、トランコム手配の代替荷物により物量波動を安定させることで、定期便での運行を実現
- スワップボディコンテナ車両導入に伴う作業フローの変化に対し、物流パートナーの協力を得ることで、他事業でも適用しやすい事業スキームを実現
- 荷役時間の制約が解消され、時間の有効活用を実現
- 荷役負担を軽減することで、女性・高齢者ドライバーが活躍可能な環境を実現。
- 運行台数を2,490台/年（50%）削減
- ドライバーの荷降時間を約12,450時間/年削減

- ◎ CO₂排出削減量 880.4トン/年
- ◎ CO₂排出削減率 38.6%

【コンテナとシャーシの分離の様子】



【コンテナの留置の様子】



【積み込みの様子】



全体像

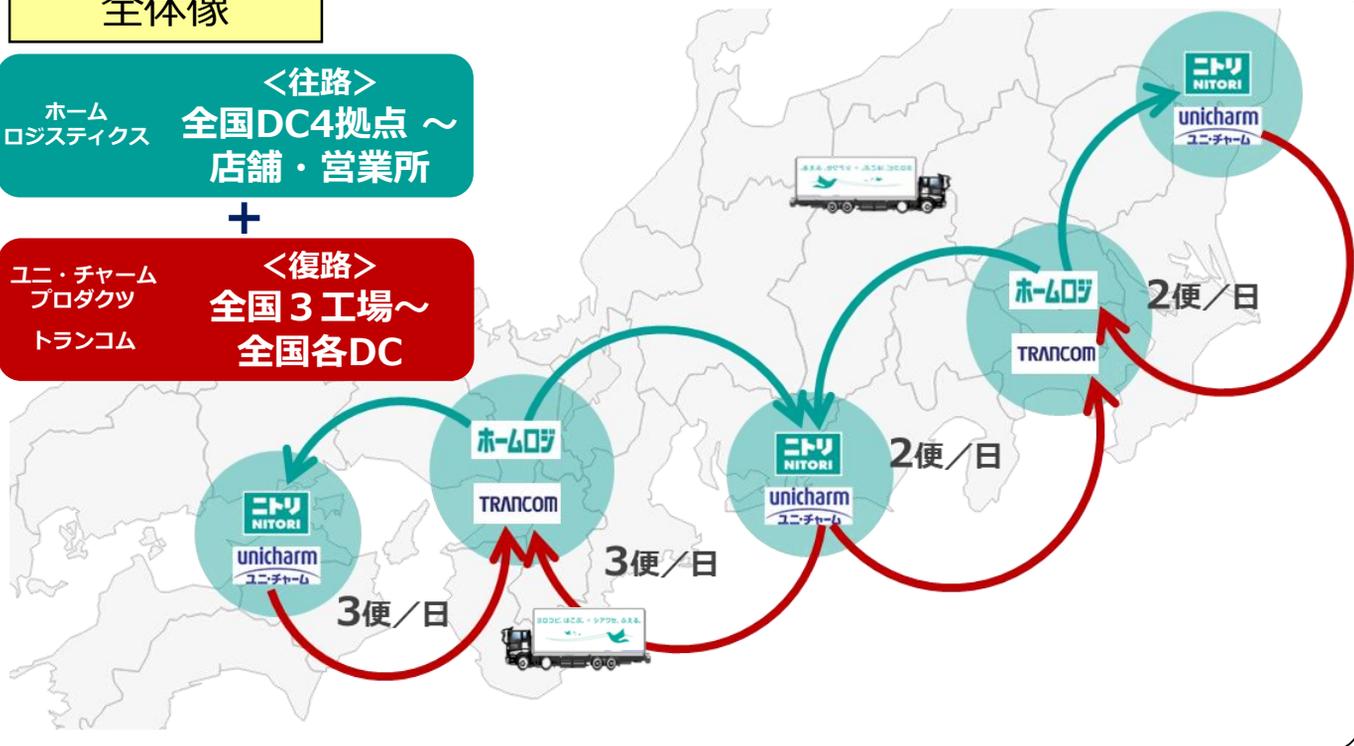
ホーム
ロジスティクス

＜往路＞
全国DC4拠点～
店舗・営業所

+

ユニ・チャーム
プロダクツ
トランコム

＜復路＞
全国3工場～
全国各DC



運行のイメージ

N日

N+1日

Before



積込み

運行&休息

荷卸し

2～3時間の
バラ積み作業

← ドライバー拘束時間 →

荷役分離

前日
荷卸し

積込み

運行&休息

← ドライバー拘束時間 →

After

ホームロジ

unicharm
ユニチャーム



連結～往路

切り離し～連結

復路～切り離し



令和2年度 経済産業大臣表彰

事業名

VMIセンター導入による調達物流の最適化

事業者（◎：代表者）

- 江崎グリコ株式会社◎
- 川西倉庫株式会社
- グリコ栄養食品株式会社
- 国分グループ本社株式会社
- 塩野香料株式会社
- 長岡香料株式会社
- 新田ゼラチン株式会社
- 不二製油株式会社
- 松谷化学工業株式会社
- ヤマエ久野株式会社

事業概要

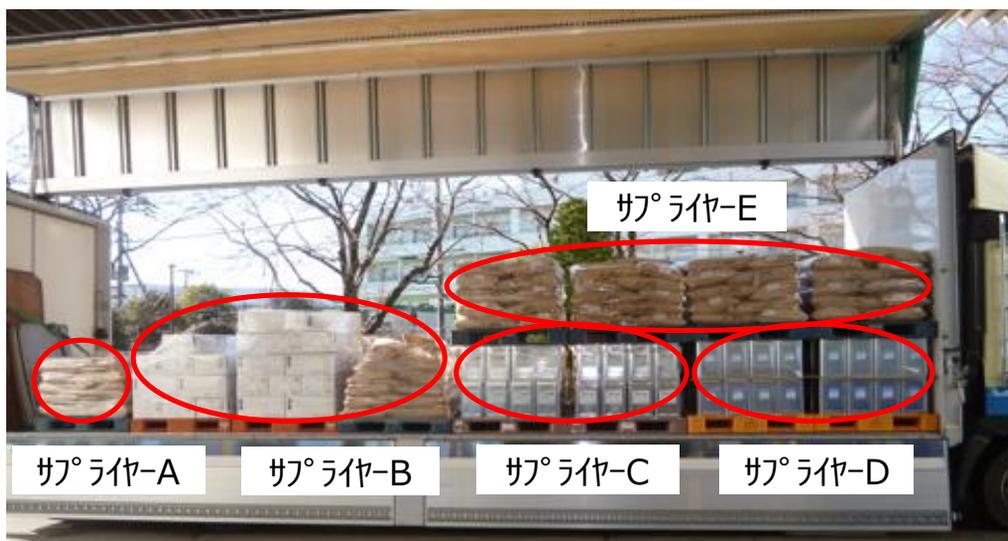
江崎グリコ関東5工場へ納品される原料を対象とした共同物流センター（以降VMI）を開設することにより、小口多頻度の調達物流から脱却し、環境と生産性向上へ寄与。

取組のポイント

- 自動車、小売業界で広く運用されているVMIの運用を食品製造業界へ適用
- サプライヤーも含めたEnd to Endの物流プロセスをプランニング
- 精緻な原料使用計画の早期開示により、サプライヤーの計画的な在庫運用を実現
- 品質面（食品製造の特徴であるフードディフェンス）から外部持ち込みパレットでの荷下ろしが出来なかったが、VMIセンター導入によりこれを解決

- ◎ CO₂排出削減量 517.6トン/年
- ◎ CO₂排出削減率 75.0%

【複数サプライヤーが混載された納品トラック】

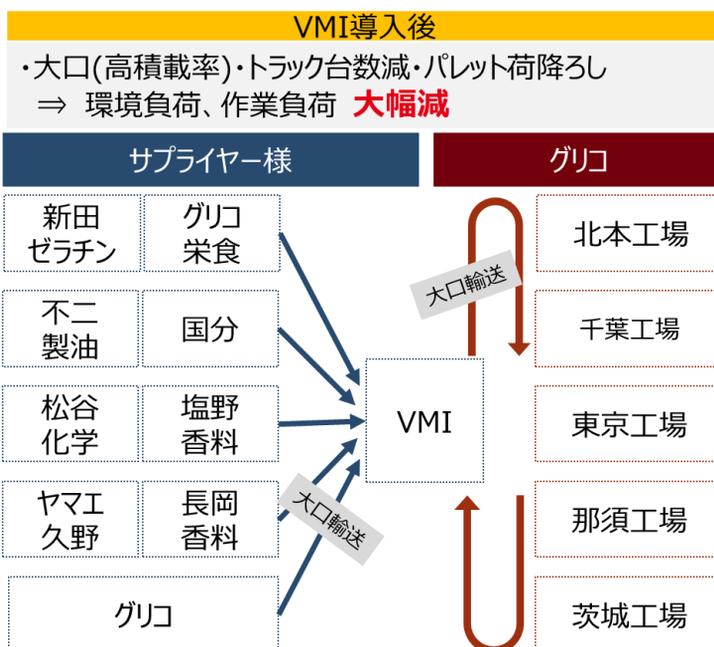


実施前



- ・各サプライヤーは当社発注に合わせて必要な時、必要な量を各工場へ納品
- ・結果的に、宅急便や路線便を中心とした小口混載便が納品車両の6割を占め状況であった

実施後



- ・先々の原料使用計画に基づきVMIセンターへ**大口補充**。VMIセンターから各工場への輸送は**共同配送で高積載率化**を実現
- ・宅配便や路線便は削減、工場への総納品**トラック台数も削減**
- ・更にVMIセンターのパレット管理基準により工場では**パレット納品化**による重筋作業撲滅

令和2年度 国土交通省公共交通・物流政策審議官表彰

事業名

RORO船を用いた本州内紙製品バラ積輸送(愛知～埼玉間)

事業者 (◎：代表者)

- 栗林商船株式会社◎
- 東海協和株式会社
- 王子物流株式会社
- 栗林運輸株式会社

事業概要

愛知県と埼玉県との間での紙製品（巻取紙）輸送について、従来小ロットのトラック輸送を行っていたところ、バラ積での大ロット輸送に切り替えることで、RORO船による海上モーダルシフトを可能とし、陸送距離削減と環境負荷低減に加え運送コスト削減を実現。

取組のポイント

- 従来まで陸送で輸送していた本州内の工場間輸送において、バラ荷役を実施することで、中距離モーダルシフト構築と大量一括輸送を実現
- 陸送距離やトラック輸送時間の大幅削減による環境負荷低減と労働環境改善
- 出荷ロットの変更等が必要になることから、荷主側においても物流部門だけでなく倉庫管理、生産管理、営業部門といった企業全体での協力体制を構築
- トラックドライバーの運転時間を4,815時間/年(74%)削減

◎ CO₂排出削減量 73.5トン/年
◎ CO₂排出削減率 33.0%

【RORO船内でのバラ荷役の様子】



【輸送中のバラ荷役された紙製品】



実施前

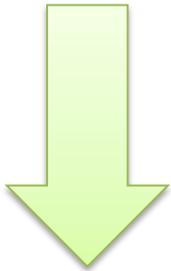


王子製紙(株)
春日井工場

約400km(トラック輸送)

埼玉県内
加工場

小ロットでのトラック輸送を実施



- 中長距離輸送のトラックドライバー不足の深刻化が予想され、王子製紙(株)春日井工場の製品輸送力の維持強化や陸送以外の輸送経路選択の多様化が課題に。
- 春日井工場での生産品の一部である埼玉県内の加工場向の巻取紙製品輸送について、栗林商船所有のRORO船を用いたバラ積輸送を行うことにより海運モーダルシフトを実施。

実施後



王子製紙(株)
春日井工場

埼玉県内
加工場

約30km
(トラック輸送)

大ロットでの船舶輸送を実施

約65km
(トラック輸送)

名古屋港

約350km(RORO船バラ積輸送)

東京港



令和2年度 経済産業省商務・サービス審議官表彰

事業名

異業種メーカー3社の共同連携輸送による環境負荷低減
『高積載スワップボディ車を活用したラウンド輸送』

事業者（◎：代表者）

- ライオン株式会社◎
- モンデリーズ・ジャパン株式会社
- 株式会社J-オイルミルズ
- 鈴与株式会社

事業概要

異業種3社メーカーの共同連携輸送により、使用車両台数を3台から2台へ削減、実車率96.5%の運行となり、環境負荷低減を実現した。
更に、高積載スワップボディ車を活用し、荷台を分離した運用により効率的な積込作業及び待機時間の解消等を実現。
また、中継輸送方式を導入することでドライバーの労働環境を改善した。

取組のポイント

- 日用品、菓子、加工食品メーカーの異業種3社共同連携輸送
- 高積載スワップボディ車の利用

◎ CO₂排出削減量 137.3トン/年
◎ CO₂排出削減率 43.0%

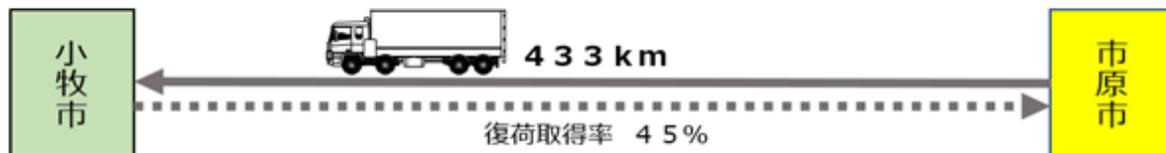
【高積載スワップボディ車への積み込みの様子】



実施前

各社それぞれが車両を手配（大型車 計 3 台）

①ライオン株式会社



②モンデリーズ・ジャパン株式会社



③株式会社 J-オイルミルズ

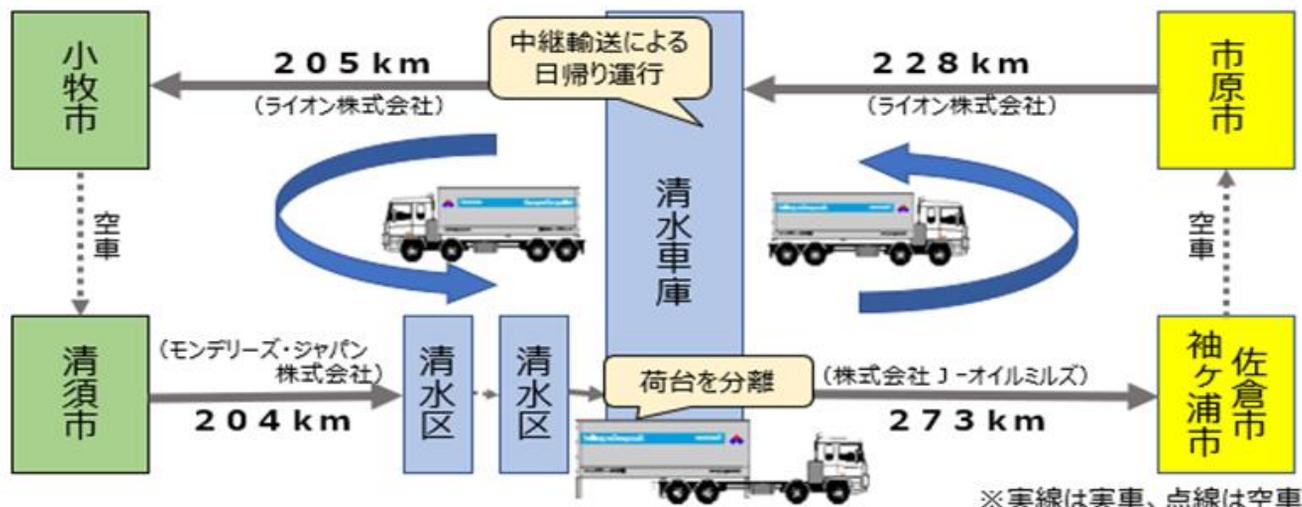


- ・物流分野でのCO2削減
- ・長距離輸送のトラック安定確保
- ・出荷作業・ドライバーの作業負荷軽減
- ・トラックの積載率向上

実施後

荷主 3 社が連携し、輸送を共同で実施

使用車両台数 3台⇒2台 実車率 96.5%



- ・CO2削減：年間 137.5 t、43%の削減
- ・車両台数削減：年間 250 台、34%の削減
- ・往復実車率：96.5%を実現

令和2年度 グリーン物流パートナーシップ会議特別賞

事業名

アクティブRFIDタグ搭載スマートパレットの活用による
物流の生産性向上

事業者（◎：代表者）

- ・ 東レ株式会社◎
- ・ ユーピーアール株式会社

事業概要

ユーピーアールが開発したアクティブRFIDタグ搭載スマートパレットを使って、東レ製品の一貫パレット輸送を実現。トラック運転者の手荷役解消、積み下ろし時間の短縮を図ることで、労働環境を改善。物流の生産性を向上させると同時に、効率的なパレット回収網を活用し、CO2排出量を削減した。

取組のポイント

- レンタルパレット業界初のアクティブRFIDタグをパレットに搭載
- 工場や倉庫に設置されたリーダーがタグの電波を読み取り、自動的に常時正確なパレットの在庫、入出庫情報の管理が可能
- 東レが全国に構築していた荷資材の回収店網を活用し、空パレットを顧客から速やかに回収

◎ CO₂排出削減量 197.2トン/年
◎ CO₂排出削減率 83.0%

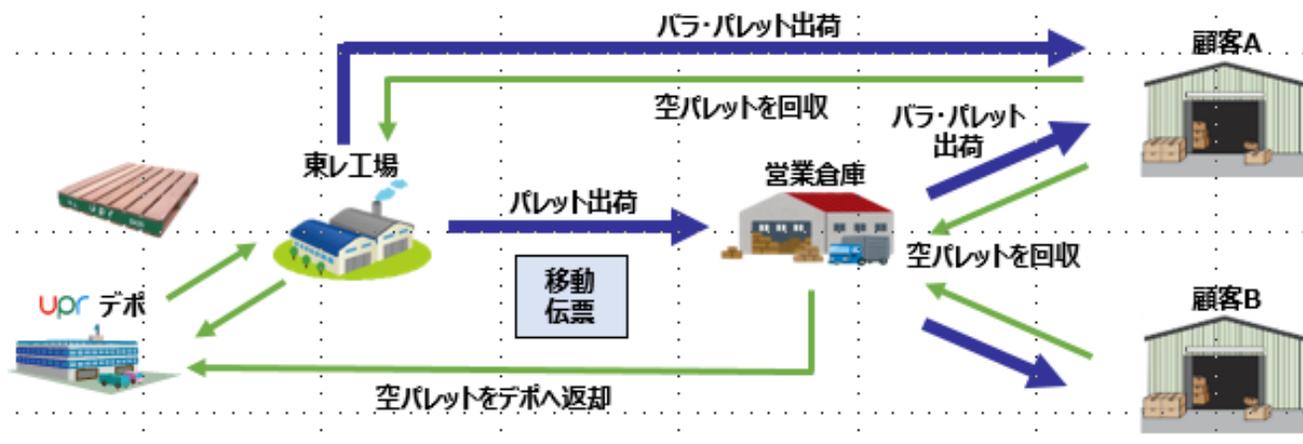
【手荷役による紙袋の積み替えの様子】



【リフトによるパレット荷役の様子】

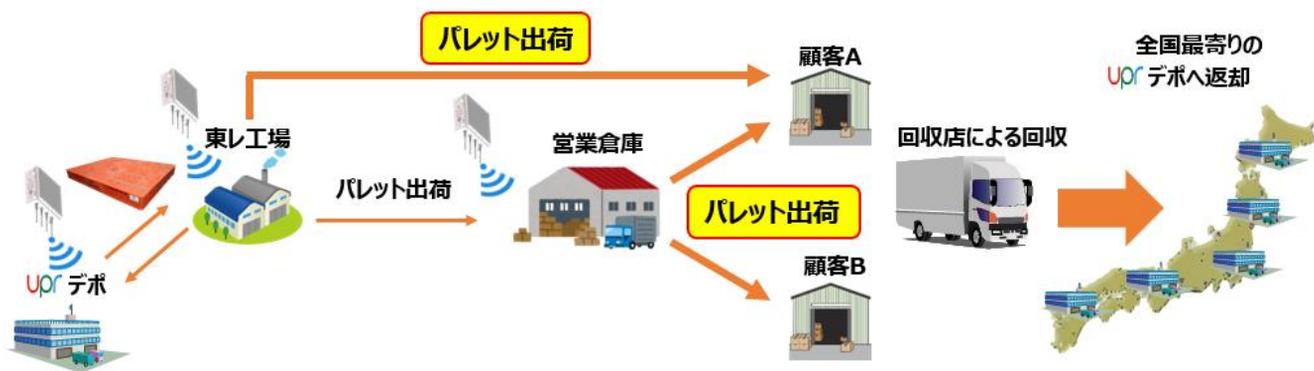


実施前



- ・移動伝票（紙）で管理
- ・バラ出荷の場合は手荷役による作業負荷大
- ・顧客先でトラックの待機時間あり
- ・パレット出荷の場合は非効率な納入便回収

実施後



- ・伝票レスによる事務作業効率化
- ・パレット出荷による手荷役解消
- ・トラックの待機時間減少
- ・回収店による効率的な回収

グリーン物流 と ホワイト物流の両立へ

令和2年度 グリーン物流パートナーシップ会議特別賞

事業名

ゴルフ用品業界における共同配送事業

事業者（◎：代表者）

- 一般社団法人日本ゴルフ用品協会◎
- 株式会社Opex
- 株式会社ダンロップスポーツマーケティング
- テーラーメイドゴルフ株式会社
- アクシネットジャパンインク
- マジェスティゴルフ株式会社
- 株式会社大沢商会
- セントラル工商株式会社
- ライト株式会社
- ピンゴルフジャパン株式会社
- 株式会社ゴルフパートナー

事業概要

物流コストが年々拡大傾向にあり、1企業でのコスト削減には限界。ゴルフ用品協会加盟企業による共同配送事業の運用により、業界として物流コスト削減に取り組んだ。

共同運送にあたり参加企業の協力の下、個口の重量・サイズを標準化、土・日・祝祭日の集荷止め、集荷・配送時間の定時運用により環境負荷の低減と持続可能な物流体系の構築に取り組む。

取組のポイント

- 納品時間の定時化により店舗での受入れ業務の効率化に貢献
- 梱包個口の重量、サイズ、集荷方法の見直し等により、ドライバーの負担軽減を図ると共に企業側にも複数個口になればコスト削減にも繋がり両社にメリット

◎ CO₂排出削減量 1708.4トン/年
◎ CO₂排出削減率 39.0%

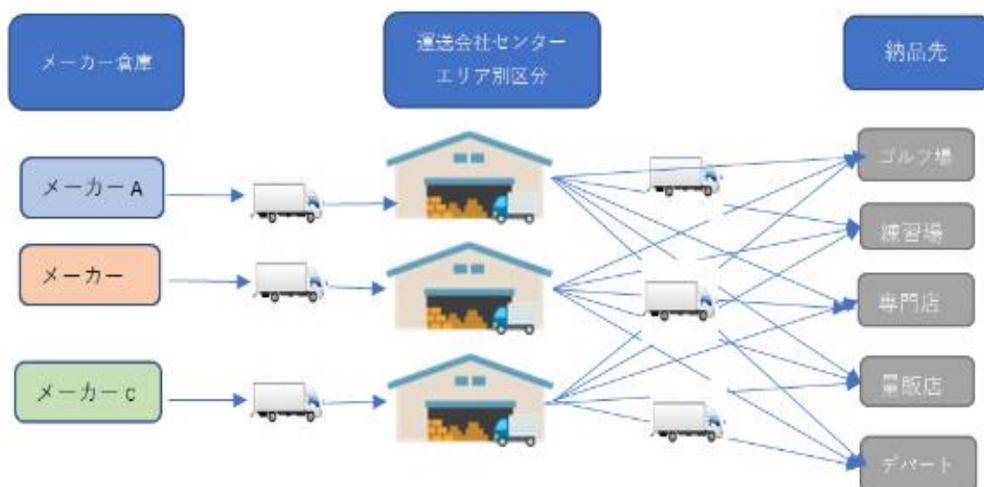
【小売店舗への納品の様子】

繁忙日の荷受検品には1名で8時間の工数を要する、。



実施前

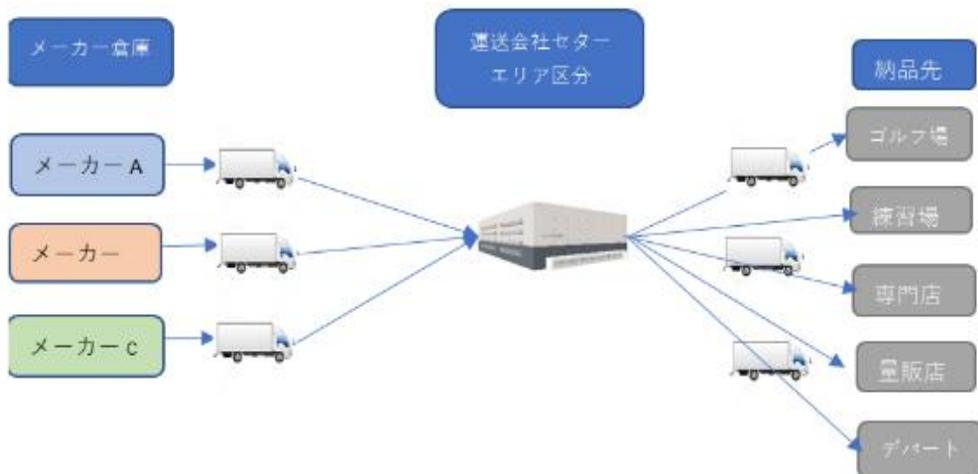
◆各社平均3社で輸送を実施



- ・各社個別に運送会社と運送契約を結び店舗に配送していた為、店舗では複数の運送会社から荷物が不規則に届き、店舗での荷物の受け入れ、検品・開梱・品出しに多くの時間と人員を要していた。
- ※大型店舗では受入れ業務に1名が専従で延べ8時間を要する。

実施後

◆共同配送により1社で集約輸送



- ・個口重量、サイズ標準化、集配時間の見直しと共に複数口ほど配送料が安くなる料金体系を採用。結果ドライバーの負担軽減と企業のコストダウンと共に、得意先へのサービス向上に繋がる。
- ※店舗への納入時間が一定となり、店舗での受入れ業務が軽減。
概ね午前中に納品完了